

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

March / 10 / 2017 # 48

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『生演奏』

[2] Pepeのひとりごと

『メイン』

[3] おすすめ動画

『【エンター・ザ・ミュージック】トランペット特集：白水大介』

『Bernard Salles / Stéphane Labeyrie / Tuba concerto I : Allegro moderato』

[4] 演奏のヒント！

『なにごとも適度に』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『生演奏』

今月はオーケストラがあまり忙しくなく（珍しく。笑）、自分の時間が取れています。

普段はなかなか日程が合わないために足を運ぶことができないコンサートに、もう2回ほど行ってきました！ :)

やっぱり芸術は生で体験するのが一番ですね！

オーケストラと金管アンサンブル（5重奏）を聴いたのですが、
どちらも自分の専門分野。
一聴衆としてだけでなく、いろいろな視点から鑑賞することが
できました。

個人的には、とてもいい勉強になりましたよ！！

みなさんもぜひ、状況が許す限り、音楽に限らず芸術に触れる
機会を多く持つようにしてみてください。

目には見えない価値観、効果がありますよ。 ;)

[2] Pepeのひとりごと

『メイン』

「メインはどちらですか？」

と、TromboneとEuphoniumの両方を専門的にやっているために、
僕はこれまでいろいろなところ（国関係なく）でいろいろな人に
この質問を受けてきました。

その時の僕の答えは、いつもこのどちらかです。

「Tromboneです」

（Tromboneを吹いている／持っているとき）

「Euphoniumです」

（Euphoniumを吹いている／持っているとき）

です。

これは今でも同じ。

両方の楽器を「同時に」は演奏できないので、幸いこのような
返事ができるのですが、これは本当です。 ;)

僕は、このような返事を返したいとも思いながらずっと（今でも）
頑張っています。

「どちらがメインか、サブか」というのは僕の中では存在していません。
どちらの楽器でもソロ、アンサンブル、オーケストラ、吹奏楽など
どの場面でもプロフェッショナルとして活動できます。

そして今、楽器ではなく「活動のメインは？」と聞かれると

「オーケストラです」

と答えます。

なので、自分の生活もオーケストラでの活動を中心に組んでいます。
今月のようにオーケストラでの活動があまり忙しくない時期は、
他のことに費やすエネルギーが自然と多くなってきます。

オーケストラが忙しくないのでは休めるのかと思っていたのですが、
実際にこの時期に入って気づいたことは、普段よりもハードな
過ごし方をしています（笑）。

どうしてそうになってしまうのか？？

・・・翌日のリハーサルやコンサートのことを気にしないで練習を
満足いくほどやったりできてしまうのが原因です（笑）。

やってみないと気づかない、というね・・・（笑）。

今月は、満足いくほど練習もしつつ、しっかり休息も取りながら
過ごしていこうと思います！ :D

[3] おすすめ動画

『【エンター・ザ・ミュージック】トランペット特集：白水大介』
https://www.youtube.com/watch?v=vXjHS_er4IA

今月1つめの動画は、関西フィルハーモニー管弦楽団、
首席Trumpet奏者の白水大介さんが出演したテレビの動画を
紹介しますね。

この動画では、ステキな演奏だけでなく、いろいろな楽器の音色も
堪能することができます！

実は僕、エコーホルネットの音をこの動画で初めて聴きました！
これまで写真でしか見たことなかったのですが、まさか、近くに
いらっしゃる方が持ってたなんて！（笑）

白水さん、よくうちのオーケストラにも助っ人で吹きに
来てくれているんですよ。

実は、今日のコンサートでも一緒に吹きます。 ;)

みなさん、お楽しみに！！

『Bernard Salles / Stéphane Labeyrie / Tuba concerto I : Allegro moderato』
<https://www.youtube.com/watch?v=Wrd8G3cV0bg&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg>

2つ目の動画は、パリ管弦楽団、首席Tuba奏者のStéphaneが
コンチェルト（オーケストラ伴奏）を演奏している動画です。

何をどのように吹いているのかが明確にわかる演奏で、すっごく
気持ちがいいですよ！

「Tubaだから細かい音がモゴモゴして聞こえにくい」だとか

「Tubaだからメロディーを音楽的に演奏するのは苦手・・・」
なんていうことは、まったくないんです！！
この演奏を聴くと、よくわかると思います。

これまであまりTubaの演奏を聴いたことがない人は、
きっとこれを聴くとTubaの魅力に惹かれることでしょう。：)

[4] 演奏のヒント！

『なにごとにも適度に』

何事も適切な量がいいとはよく言われますよね。
食べることも寝ることも、勉強することも練習することも、なんでも
やりすぎてしまうとよくない状態になってしまうのは、ほぼすべての
ことに関して言えることだと思います。

楽器の演奏や練習に関してもそう言えると僕は思っています。
いろいろなことに当てはめて言えると思いますが、今回はまず
「息」について書いてみますね。

僕はレッスンのときに生徒に伝える場合があるのですが、
「息の吸いすぎ」が原因となって演奏がうまくいっていない場合が
少なからずあります。

吹奏楽で楽器を吹き始めて、これまでにいろいろと合奏指導などを
受けたことがある人だと、「息の吸い方」について教えてもらったことが
ある人も（意外と）多いと思います。

そのときに教えてもらうのは、「どのように息を吸うか」、また
「どのようにたくさん息を吸うか」ということだと思います。

もちろん、これらはとても大切なことです。

でも、長くないフレーズを小さな音で演奏する場合などにおいては、
息をたくさん吸いすぎているがためにうまくいかない、ということが
多いことも事実なんです。

息は、必要以上に吸いすぎていると身体に力みが入ってきてしまいます。

適度に（必要なだけ）息を吸って「楽に」吹いて（吐いて）
みてください。
力みのない楽な感じで音が出せるようになるはずですよ。

ここで一つ注意してもらいたいのは、逆に「力を抜きすぎないこと」。
ここでも、「適度な」という感覚が必要です（笑）。

練習として、息が楽に保つ短いフレーズを使って、いろいろな量の
息を吸って吹き比べてみてください。
「適度な量」を知ることって、簡単ではないですよ～（笑）。

これも練習ですよ！ :D
まずは自分でいろいろとやってみることが一番！！

そうすると、「自分にとっての適度な量」というのが少しずつ
感覚的にわかってきます。

最後にもう一つ注意ポイントを！！
息の吸う量が減ると、息の吸い方が変わってしまう人もいます。
これは注意してください。

息の吸い方（主に身体の使い方）は、たくさん吸うときに
気にしたことを同じように気にしてやってくださいね。
吸う息の量だけを変化させます。

吸う量が減ると自然と胸の辺りだけで吸ってしまうことが
ある人もいますので、そこだけは特に注意してやってください。 :)

編集後記

ごめんなさい。
今号のメールマガジン、金曜日（一昨日）に発行し忘れて
いました・・・。

気がついたのは昨日（土曜日）の朝。

昨日のうちに書いて発行したかったのですが、23時まで
書くことができなかったため、朝に発行することにしました。

今号がもう48号。
おお、ちょうどこのメールマガジンを発行し始めて

丸4年が経ちました～！ :D

4年で初めての発行し忘れ。

まあ、許してください・・・。 ;)

来月からもまたちゃんを書いていこうと思います！

いつも購読、ありがとうございます。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>